

広 報

2024年10月号

編集委員 黒須俊行 南出美佐 原田由紀子 前原直之

【重要】広報の紙面での配布終了のお知らせ

現在発行している広報につきまして、ペーパーレス化による自然環境への配慮と共に、事務作業の軽減を目的としまして2025年3月号をもちまして紙面での配布を終了とさせていただきます。広報は継続して発行していきますので、今後は電子版の広報（PDF形式）をメールにてお届けさせていただきます。またホームページ（会員ページ）にも広報ファイルをアップしていますのでこちらもご利用ください。

なお、2025年4月号以降も紙面をご希望の場合は、印刷発行手数料として11,000円／1年（税込）で発行いたします。ご希望の方は事務局までご連絡ください。

ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【重要】会員への情報提供方法の変更のお知らせ（2025年4月から）

現在会員への情報提供はメーリングリスト・FAXを用いていますが、2025年4月より「eST-aid」のシステムを利用して情報提供させていただきます。移行期間として2025年3月の1ヶ月間メーリングリスト・FAXと並行して情報提供いたします。なお、緊急時はFAXでお知らせいたします。

「eST-aid」のお知らせ機能では内容をカテゴリー別に分類することができ、過去のお知らせを探しやすくなっています。

また当会では「eST-aid」を用いて災害時の安否確認や開局情報の共有、地域における夜間・休日の医薬品提供体制のリスト化、公表を行っています。

さらに各薬局における採用薬や不働医薬品の公開が可能であり、各薬局間の小分けや不働医薬品解消の一助になればと考えております。

ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせください。

※健康展のお知らせとお願い

令和6年12月8日（日）としま区民センター 多目的ホールにて健康展を開催する予定です。

既に会員の皆様には出動に関するアンケートをお願いしておりますが、お手伝いいただける方が予定人数より少ない状況です。アンケートの回答期限が過ぎてしまいましたが、出動可能な先生がいっぱいありましたら事務局までご連絡ください。ご協力よろしくお願いいたします。

※妥結率の報告をお願いします

すべての保険薬局が対象です。11月29日（金）が提出期限ですので忘れずに報告してください。報告書式が変更となっておりますのでご注意ください。

都薬関連およびその他の重要な連絡事項など

1) 「令和6年度 薬局薬剤師のためのコンプライアンス研修会」の開催について

日 時： 令和6年12月7日(土) 19:00 ~ 21:00
開催形式： Zoom ウェビナーを用いたオンライン研修会（ライブ配信）
受 講 者： 都内薬局の薬剤師
資 料 代： 1,500 円（申込時にクレジットカード決済）
単位認定： 東京都薬剤師会 生涯研修認定制度 集合研修1単位
申込方法： 東京都薬剤師会ホームページ(<https://www.toyaku.or.jp/>)
「お知らせ」より、お申込みください。
申込期間： 令和6年10月28日(月) 10:00 より受付開始

2) 適正服薬に関する通知の送付に伴う事業について

東京都後期高齢者医療広域連合より、重複投薬・多剤投与によって起こり得る有害事象を減らすことを目的とした適正服薬啓発活動への協力依頼がありました。

服薬に関する通知書を送付するため、通知を受け取った該当者が相談のため来局した場合は適切な対応をお願いいたします。また、ポスターの掲示にもご協力をよろしくお願いいたします。

※詳細は保険部ページをご確認ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > 会長会資料からの伝達事項 > 令和6年10月資料

https://drive.google.com/file/d/1UqI4CHAYLDROCogGrsTbtUk7PCCpzP6J/view?usp=drive_link

3) 令和6年度 在宅訪問ステップアップ研修会のお知らせ

日 時： 全3日程 19:00~21:00
11月7日(木) 在宅医療初期講習
11月21日(木) ACPの理解
12月5日(木) 非がんの緩和医療
開催形式： Zoom ライブ配信
受 講 者： 東京都薬剤師会会員 若しくは会員薬局に勤務する薬剤師
受 講 料： 無 料
単位認定： 東京都薬剤師会 生涯研修認定制度 集合研修1単位（各回）
申込方法： 東京都薬剤師会ホームページ(<https://www.toyaku.or.jp/>)
「お知らせ」より、お申込みください。
申込期間： 令和6年10月17日(木) より受付開始 各回定員400名

4) 独立行政法人医薬品医療機器総合機構が実施する健康被害救済制度に関して

医薬品医療機器総合機構(PMDA)において副作用報告の広報資材を無料で配布しています。また、健康被害救済制度についても国民及び医療関係者における制度の認知度・理解度の一層の向上を目的とした広報活動を展開していますのでこちらにお知らせします。

※詳細は保険部ページをご確認ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > 会長会資料からの伝達事項 > 令和6年10月資料

https://drive.google.com/file/d/1R8m9mZT7JfqC5u0vGvgZNRFM085lJCyC/view?usp=drive_link

5) 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業研修会のご案内

日 時：令和6年12月15日(日) 13:00～16:00
開催形式：ライブ配信(研修会後1週間程度のアーカイブ配信も行う予定)
対 象 者：薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業参加薬局の職員
受 講 料：無 料
申込方法：本事業に登録しているメールアドレス宛に申込方法をご連絡いたします
申込開始：令和6年11月上旬頃の予定

6) 障害者差別解消に関する普及啓発物の紹介 ～東京都福祉局～

東京都では「東京都障害者差別解消法ハンドブック」及び「東京都障害者差別解消条例パンフレット」を東京都福祉局のホームページに掲載しております。是非、御一読ください。

※東京都障害者差別解消法ハンドブック

https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/shougai/shougai_shisaku/sabetsukaisho_yougo/sabekaikeihatsu.files/han_2024.pdf



※障害者差別解消条例普及啓発パンフレット

https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/shougai/shougai_shisaku/sabetsukaisho_yougo/sabekaikeihatsu.files/pan_2024.pdf



7) 季節性インフルエンザワクチン及び新型コロナワクチンの供給等について

季節性インフルエンザワクチン及び新型コロナワクチンについて、今年度の供給量及び安定供給に係る対策が示されました。

※詳細はこちらをご覧ください

https://drive.google.com/file/d/1ETktAk_YeSMab_Hp8VUjY3iJQSFUuRA0/view?usp=drive_link



豊島区薬剤師会からの連絡事項

1) 【再掲】高齢者の服薬情報提供事業へご協力のお願い

当会と豊島区との共同事業「高齢者の服薬情報提供事業」へのご協力をいただき誠にありがとうございます。

残薬バッグの追加をご希望の場合は、事務局までご連絡ください。

なお、患者さんが来局され対応された先生は、引き続き翌月10日までに事務局まで所定の用紙にて報告をいただきますようお願いいたします。

2)【再掲】豊島区薬剤師会ホームページ更新について

地域における夜間・休日の医薬品提供体制の構築及びリストの公表を行うためにホームページをリニューアルしました。

【リストの掲載場所】

豊島区薬剤師会HP → 区民向けご案内 → 薬局をさがす（地図またはリストで探せます）

■ <https://www.toyoyaku.jp>

■ 会員専用ページのID、PWはいずれも「toshima」です。

今後とも、内容の充実を図るとともに、よりわかりやすい情報を発信してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

会員退会

村山 香織 (A) 田辺薬局豊島長崎店 長崎2-1 4-1 1

会員入会

大野 信也 (A) 田辺薬局豊島長崎店 長崎2-1 4-1 1

会員数報告

A 会 員	113	名
B 会 員	13	名
賛助会員	2	名
合 計	128	名

保険部より

1)「こどもDX推進に向けた医療機関等におけるマイナンバーカード利活用推進事業」(PMH接続支援事業)の周知について

東京都デジタルサービス局より、別紙のとおり「こどもDX推進に向けた医療機関等におけるマイナンバーカード利活用推進事業」の周知依頼がありました。

国(社会保険診療報酬支払基金)において、本年7月から医療機関・薬局におけるレセプトコンピューターのPMH接続に係る改修費補助を実施しており、東京都はその補助金に上乗せして補助金を交付する事業を令和6年9月27日から開始するとのことです。

厚生労働省が補助する“指定医療機関(公費21.53.54)における医療機関システム(PMH接続に係る)改修等事業”についてはご連絡済みですが、今回はデジタル庁及び東京都デジタルサービス局(デジタル庁補助)によるPMH接続支援についてのご連絡です。

なお、厚労省補助による事業は指定医療機関が対象でしたが、デジタル庁補助による事業は都内の全保険薬局が対象となります。ただし、前述の指定医療機関を対象としたPMH接続支援(厚労省補助)を用いる保険薬局は対象外となりますのでご注意ください。

2) 日本臨床腫瘍薬学会「専門医療機関連携薬局 年次定点調査」へのご協力のお願いについて

日本臨床腫瘍薬学会より、「専門医療機関連携薬局 年次定点調査」の実施について別紙の通り連絡がありました。同調査については、日本臨床腫瘍薬学会において、専門医療機関連携薬局を対象に組みの状況などを毎年定点で調査するものとなります。

つきましては、専門医療機関連携薬局の先生方は本調査にご協力いただきますようお願いいたします。

3) 令和6年度における「医療扶助のオンライン資格確認導入に係る医療機関等助成事業」の実施について

「医療扶助のオンライン資格確認導入に係る医療機関等助成事業」として、本年度は、**令和6年3月2日から令和6年3月31日までに改修を行った医療機関等**を対象に助成を行い、令和6年4月1日以降の取扱いについては、必要な措置を講じた上で改めて連絡があるとのことです。

1. 申請受付開始時期 令和6年11月5日（火）
2. 申請期限 令和7年2月1日（土）
3. 助成金申請対象医療機関等
令和6年3月2日から令和6年3月31日までにレセコン等の改修を行った病院、診療所、薬局

なお、こちらの内容は、近日中に医療機関等向け総合ポータルサイトにも掲載予定とのことです、ご確認ください。

- 医療機関等向け総合ポータルサイト

https://iryohokenjyoho.service-now.com/csm?id=oqs_csm_top

4) 薬局における調剤事故の発生について（注意喚起）

先般、保険薬局において、誤ったハイリスクの薬剤が含まれている状態で一包化、交付され、服用した患者が死亡する調剤事故が発生したことが報道されました。近年、薬剤師業務はいわゆる対人業務の推進を求められていますが、より適切で安全な薬物療法の提供が基本であることは何ら変わりません。さらに、ハイリスクの薬剤については、よりレベルの高い、厳格な安全体制が求められます。

平成19年4月1日より、薬局における安全管理体制の整備が開設者に義務付けられ、医薬品安全管理責任者の設置や業務手順書の作成等が、薬局開設者の遵守事項として規定されました。また、公益財団法人日本医療機能評価機構が実施している「薬局ヒヤリ・ハット事例収集分析事業」については、薬局から多くの事例が報告され、それぞれの薬局では経験したことのないようなヒヤリ・ハット事例を知ること、同様の事例が発生することがないようにあらかじめ防止対策を講じることや、他の薬局ではどのような改善策を立てているか参考にすることを目的としています。また、疑義照会や処方医への情報提供に関する事例として、医療安全に資する取り組みに関する事例が報告されており、それらの情報の共有によって、より適切で安全な薬物療法の提供に役立つものになっています。今回一包化に関して報告されている事項について、まとめた資料を「豊島区薬剤師会保険部グループページ」に格納してありますのでご一読ください。

また、今一度業務手順書の見直しを行う、事故防止のための仕組みについて薬局内で話し合いを行うなど、改めて医療安全への対策を徹底していただくようお願いいたします。

※詳細は保険部ページをご確認ください。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら > 会長会資料からの伝達事項 > 令和6年10月資料

https://drive.google.com/file/d/1W_q4Sw9dKmzKu9KTSyGJuCiBmkxZtg5k/view?usp=drive_link

5) 新型コロナウイルス感染症患者等の公費支援等の終了に伴う

令和6年度における請求事務の取扱いについて

新型コロナウイルス感染症患者等の公費支援等の終了に伴う令和6年度における請求事務の取扱いについては、令和6年6月21日付け日薬業発第109号にてお知らせしたところです。

公費支援の財源である新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金において、やむを得ず請求事務が所定の時期に間に合わなかった場合の対応は、令和6年度限りとなっており、各都道府県における執行手続きの関係上、令和7年1月診療分の請求時期が最後の機会となります。現時点で必要な請求事務が終了していない場合には、当該請求時期までに必ず請求事務を行っていただくようお願いいたします。

6) 介護分野の人員配置基準に関するローカルルールの把握のための事例・要望に

係る専用受付フォームの周知について

現在、別紙の通り、令和6年度老人保健健康増進等事業「人員配置基準のいわゆるローカルルールの把握・整理」を実施しており、介護分野の人員配置基準に関するいわゆるローカルルールについて広く現状を把握するため、事例・要望に係る専用受付フォームを開設したとのことです。

回答期限は **11/22 (金) 18:00** までとなっておりますので、居宅療養指導を行っている先生方はご協力いただけますようお願いいたします。

＜受付フォーム掲載先＞

<https://forms.office.com/r/s4KBqFeNnA>



7) 後期高齢者医療制度マイナンバーカードと健康保険証の一体化に伴う

周知用ポスターの配布について

東京都後期高齢者医療広域連合では、令和6年12月2日の被保険者証廃止に伴いマイナンバーカードと健康保険証の一体化について資格確認証の発行・送付が行われます。これに伴い、周知を図るためのポスター及び医療機関等事務担当者向けの説明チラシが配付されますので、ポスターの店頭への掲示をよろしくお願いいたします。

8) 【再掲】 保険に関する情報は「豊島区薬剤師会保険部グループページ」を

ご覧ください

豊島区薬剤師会では保険関係の情報を細かく伝達するために、専用のページを設けております。URLより通知等の原文のPDFが閲覧可能です。

豊島区薬剤師会ホームページ > 会員専用ページ > 保険部より > Google ドライブはこちら

<https://drive.google.com/drive/u/1/folders/1Izvj16An3GWZy3JDS1gLSOTV1awLkDRX>



学術部より

1) 豊島区薬剤師会学術勉強会のお知らせ

11月の勉強会は次のとおり実施いたします。

日時：令和6年11月27日（水）19:40-21:15

場所：今回は情報通信機器（Zoom）を用いて実施いたします。

内容：これからのCKD診療を考える ～病薬・薬薬連携も含めて～

Session 1 演題：CKD患者診療アップデートと紹介のポイント

～心腎連関を見据えたSGLT2阻害薬の活かし方～

座長：東京都立駒込病院 腎臓内科 医長 太田 哲人 先生

演者：東京科学大学病院 血液浄化療法部 講師 森 崇寧 先生

Session 2 地域で共有！CKD患者への接し方

パネリスト：東京都立駒込病院 腎臓内科 医長 太田 哲人 先生

豊島区薬剤師会 副会長 佐藤 栄輔 先生

東京都立大塚病院 薬剤科 梅川 誠 先生

☆今回の勉強会は東京都薬剤師会薬剤師生涯研修認定制度の認定単位1点となります。

☆この講演会への参加には事前登録が必要です。

☆申し込み方法：文京区薬剤師会との共催のため、通常の申し込み方法とは異なります。
豊島区薬剤師会HPをご覧ください。

☆参加受付締め切り日：令和6年11月26日（火）

☆認定単位をご希望の方で薬剤師免許証コピー未提出の方は薬剤師免許証のコピーのFAXをお願いいたします。（過去に提出されていれば結構です。）

2) 【再掲】勉強会・研修会の単位付与について

豊島区薬剤師会の勉強会・研修会は、情報通信機器を用いた研修を中心に実施しております。情報通信機器を用いた研修の視聴確認は、WEBシステム上のログとキーワードの確認によって行っております。単位は個人への付与であることから、各自のログが必要であることと、視聴確認の観点から、キーワードの提示は不定期であり、かつ複数回の提示はないことをご理解いただきますようお願いいたします。

なお、単位付与の基本的な考え方について豊島区薬剤師会ホームページに掲載しておりますので、ご確認いただくようお願いいたします。

薬学生実務実習関係

1) 実務実習指導薬剤師の方々へのお知らせ

11月4日(月)で3期の実習が終わります。
 10月30日(水)薬業会館にて懇親会を開催しました。
 指導薬剤師の皆さま、今年度もご指導をありがとうございました。
 引き続き、何かお困りのことがありましたらいつでも相談を受け付けております。
 また、指導薬剤師の資格を取得されたい先生は、指導薬剤師養成WSのお申込みも受付しております。

地域医療/多職種連携担当より

1) 池袋あうる薬局輪番

11月の輪番は以下の通りです。出勤よろしくお願ひいたします。
 お願ひ ~ 輪番に入る7日前までに、出勤する方の氏名をあうる薬局まで連絡してください。

11月	日 勤 9:00 ~ 16:30			準 夜 16:00 ~ 22:00	
			事務		事務兼務
2日(土)				平和通り保健薬局	河添 忠夫
3日(日)	こまごめ薬局	ヒバリ薬局(T)	渡部 邦恵	雄飛堂薬局 池袋トキワ通り店	南出 美佐
4日(月)	池袋駅前げんき薬局	上池袋薬局	川村 彩子	あかまつ薬局	黒須 俊行
9日(土)				チチブ薬局	前原 直之
10日(日)	上池袋薬局	こまごめ薬局	渡部 邦恵	池袋萬盛堂薬局	黒須 俊行
16日(土)				かもめ薬局	江村 公良
17日(日)	ホサカ薬局	あけぼの薬局 南長崎店	川村 彩子	薬局マツモトキヨシ 東長崎駅北口店	黒須 俊行
23日(土)	ポラム薬局	デイジー薬局 東池袋店	黒須 俊行	うずらやま薬局	北川 晋
24日(日)	ヒバリ薬局(K)	あけぼの薬局 南長崎店	川村 彩子	雄飛堂薬局 池袋トキワ通り店	南出 美佐
30日(土)				平和通り保健薬局	藤平健

2) 長崎休日診療所派遣

11月の輪番派遣は以下の通りです。出勤よろしくお願ひいたします。

11月	当番医	出勤薬剤師
3日(日)	保坂 辰樹	中村 美津子 いちよう薬局
4日(月)	北野 新弓	田中 俊祐 デイジー薬局東池袋店
10日(日)	重島 祐介	元谷 英志 長崎調剤薬局
17日(日)	出頭 裕元	佐藤 栄輔 佐藤薬局
23日(土)	岡野 智裕	阿部 奈穂 みやこ薬局巣鴨店
24日(日)	清水 拓行	松尾 那美 池袋萬盛堂薬局

3) 医薬品・情報管理センター報告（令和6年9月）

9月

○相談件数

薬局からの処方箋応需	6
患者からの処方箋応需	5
医療用医薬品についての相談	5
医療機関紹介	2
一般用医薬品についての相談	0
その他	1
合計	19

○管理センター売上及び仕入

売上	¥2,352,861
仕入	¥1,873,663

○池袋あうる薬局処方せん受付状況

休日・夜間	90 枚
その他	289 枚
合計	379 枚

○情報発信

新型コロナワクチン定期接種について

10月より主に65歳以上を対象に開始されました。

今回は今話題になっているワクチンについて述べてみたいと思います。

日本では以下の5種類が新型コロナワクチンとして認可されています。

- ・ ファイザーのmRNA ワクチンである「コミナティ」
- ・ モデルナのmRNA ワクチン「スパイクバックス」
- ・ 第一三共のmRNA ワクチン「ダイチロナ」
- ・ 武田薬品の組み換えタンパクワクチン「ヌバキソビッド」
- ・ Meiji Seika ファルマのレプリコンワクチン「コスタイベ」

これらのうち今話題になっているワクチンが、Meiji Seika ファルマのレプリコンワクチン「コスタイベ」です。

このワクチンにはmRNA 自体を体内で複製する酵素も組み込まれており、mRNA が体内で複製されて増えるため、従来のmRNA ワクチンよりも強い免疫反応を得ることができるとされています。

有効性については、ベトナムで行われた臨床試験の結果、発症を防ぐ効果は56.6%、重症化を防ぐ効果は95.3%でした。

特徴は

- ・ 効果の持続期間が長い
- ・ 少ない投与量で済む

と言われています。

しかし、それであるがゆえに、「ワクチン接種によりワクチンの成分が他に伝播して感染する」という噂が立っています。

実際、日本看護倫理学会が緊急声明を発表しました。

<https://www.jnea.net/wp-content/uploads/20240806kinkyuseimei.pdf>

札幌大谷学園も声明を出しています。

<https://www.sapporo-otani.ac.jp/information/33494/>

さらには

フィットネス LAVA

https://yoga-lava.com/news/all_topics_241001_important_rv.html

などサービス業界などから感染防止の対応を開始する旨の声明が数多く出されている現状です。

上記のような状況に、厚労相は先日の会見で「ワクチン成分が他者に伝播し健康被害が生じるという科学的知見はなく、こうした内容について厚労省のホームページで周知を行っているところ」と述べていました。

このワクチンの欠点は1瓶に16人分入っていて、一度穿刺すれば6時間以内に使い切らないと廃棄しなければいけません。また、データの蓄積に関しては従来打たれているワクチンより劣ると思われま

す。

これらのような理由でレプリコンワクチンを採用するクリニックは現実問題多くはないと考えられますが、質問を受けた時のために私たちは正しい情報を入手し、適切な情報提供を行う必要があります。

文責 河添

4) 薬事日報からの今月の気になるトピック

☆【心不全学会／日薬】心不全地域連携で手引き作成 - 薬剤師向け連携ツール提示

日本心不全学会と日本薬剤師会は、「薬剤師による心不全服薬管理指導の手引き」第1版を作成した。地域の病院と薬局の薬剤師が心不全患者の治療で連携する上で必要な知識や手順のほか、心不全薬剤管理サマリーや服薬情報提供書などの連携ツールを示したもの。調剤報酬改定で今年6月から、薬局薬剤師のフォローアップ業務に該当する「調剤後薬剤管理指導料」の算定対象が慢性心不全患者に拡大された。これを機に、日本心不全学会および日本薬剤師会の合同で、薬剤師向けの手引書を作成いたしました。本指導料に係る薬剤師による服薬管理指導は、かかりつけ医や患者からの求めにも応じられますが、多くは病院からの退院時情報に基づき開始されることが予想され、この第1版では介入の有効性も高いvulnerable phase(退院直後の危うい時期)での運用に特化させました。多様な薬剤師の修練度に鑑み、初学者にも容易で、かつ、現場で使える形式で作成されている。

※日本心不全学会HPよりダウンロードが可能です

<https://www.asas.or.jp/jhfs/topics/shinhuzenhukuyakukanri.html>

5) 【重要・再掲】地域における夜間・休日の医薬品提供体制(在宅含む)の構築、

リスト化及び周知等について

厚生労働省の「薬局薬剤師の業務及び薬局の機能に関するワーキンググループ」では、地域において求められる薬剤師サービスとして夜間・休日対応や在宅対応等が重要な要素として挙げられるとともに、会員・非会員を問わず地域の薬局が協力し、議論を行う必要があるとされました。また、第8次医療計画においても、在宅医療ニーズを踏まえ、麻薬・無菌製剤処理、小児への訪問薬剤管理指導、24時間対応等の体制構築が求められています。

これらの社会要請を踏まえ、日本薬剤師会より当該事項に関する体制構築と共に、地域住民へ情報の「見える化」の実現に関して依頼がございました。また、当該リストの公表は令和6年度診療報酬改定における地域支援体制加算・在宅薬学総合体制加算・連携強化加算の要件にもなっております。

豊島区薬剤師会では災害対策として既に利用しているeST-aidを用いてリストの作成と公表を行っています。加算の有無に係わらず各自薬局情報の入力・更新をお願い申し上げます。

【操作手順資料】

<https://doc.est-jp.com/n/other/shopfn/shop.pdf>

【掲載場所】

豊島区薬剤師会ホームページ > 区民向けご案内

<https://toyoyaku.jp/residents.html>

■ リストでさがす

◇外来対応一覧表

◇在宅対応一覧表

◇その他の薬局機能一覧表

6) 【再掲】eST-aid をご活用ください

豊島区薬剤師会では災害時情報共有システムとしてeST-aidを利用しております。

会員の皆様には既にご登録頂き、毎年情報共有テストを震災が起こったことを想定して被災状況の報告をしていただいております。

eST-aidにはe-Stockという各薬局における採用薬の開示および不働医薬品の公開が可能なシステムが存在し、各薬局間の小分けや不働医薬品解消に一助になればと今後活用を促進していきたいと考えております。操作方法などご不明点がございましたら豊島区薬剤師会事務局へお問い合わせください。

※災害時情報共有システム（eST-aid）

<https://est-jp.com/est-aid/>

理事会報告

日 時：2024 年 10 月 9 日（水） 午後 8 時 30 分開始 午後 10 時 50 分終了

場 所：豊島区南池袋 3-2-6 豊島区薬業会館

出席者：佐野会長 伊原副会長 佐藤副会長 江村副会長 田崎常務理事 元谷常務理事 南出常務理事
黒須常務理事 林理事 内山理事 小林理事 北川理事 原田理事 藤平理事 青嶋理事
廣田監事

9 月度理事会議事録に関して出席者全員により承認された。

報告事項

1. 東京都薬剤師会「地区及び職域薬剤師会 会長会」資料報告
2. 学術・保険担当報告
3. 防災・公衆衛生・総務担当報告
4. 地域医療・多職種連携担当報告
5. その他
 - ・ 黒須常務理事が、9 月 30 日（月）実施の在宅医療連携推進会議の臨床倫理部会の勉強会の内容と 53 名の参加があったことを報告した。
 - ・ eST-aid による地域支援体制加算の夜間・休日の調剤、在宅対応体制のリスト化の周知について、他地区の状況を鑑みて非会員から掲載費用を徴収することが承認された。

協議事項

1. 災害時優先電話の件
東京都薬剤師会が配備を進めている災害時優先電話の契約について、現在 Docomo3 台、au1 台の契約を、Docomo2 台、au 1 台の契約に変更することが承認された。
2. BCP 作成の件
発災時担当薬局一覧表について、発災時に一つの薬局が緊急医療救護所と医療救護所の両方を担当するが、最初に緊急医療救護所に参集し、状況に応じてその後医療救護所に参集することが承認された。また、各薬局の管理薬剤師を担当者として担当者リストを区に提出することが承認された。

審議事項

1. 豊島区長宛予算要望案の件
区に提出する豊島区薬剤師会の令和 7 年度予算要望案について承認された。
2. 池袋あうる薬局新入職員・欠員対応、桑の実園への報告の件
池袋あうる薬局の薬剤師の採用について新たに求人することが承認された。
3. 請求業務の変更の件
郵便料金の値上げ等への対応のため、invox 発行請求書を使用することが承認された。
4. 公開講座 書籍販売の件
第 2 回公開講座で演者から会場での演者の著書の販売希望について、販売することが承認された。

5. 健康展の件
健康展で参加者へのクイズ案が承認された。
6. 新年会の件
令和7年1月18日の新年会のお土産の招待者のみへの提供と令和8年の提供の中止、くじ引きの中止が承認された。
7. 広報の件
令和7年3月で紙面配布を終了して、電子ファイルでの提供にすることと終了後に紙面配布を希望する場合は、印刷発行手数料として年額11,000円を一括徴収することが承認された。
8. eST-aidの件
 - ・ 会員への情報提供（周知）について令和7年3月でメールとFAXでの送付を終了し、eST-aidによる送付に変更することが承認された。
 - ・ バーチャル防災訓練は実施日を特定せず、11月5日(火)～8日(金)の間で実施することが承認された。

豊島区薬剤師会の活動（9月）

9/ 2（月）	豊島区薬剤師会	防災・公衆衛生・総務担当グループミーティング
9/ 3（月）	豊島区国民健康保険運営協議会	
9/ 3（火）	豊島区薬剤師会	学術・保険担当グループミーティング
9/ 4（水）	豊島区薬剤師会	実務実習集合研修
9/ 4（水）	豊島区薬剤師会	臨時理事会
9/ 5（木）	豊島区薬剤師会	地域医療・多職種連携担当グループミーティング
9/ 5（木）	豊島区薬剤師会	あうる薬局運営委員会
9/ 7（土）	東京都薬剤師会	地区・職域薬剤師会会長会
9/ 7（土）	東京都薬剤師会	自治指導員全体講習会
9/ 9（月）	令和6年度豊島区防災会議	
9/10（火）	地域保健課	予算打合せ
9/12（木）	豊島区薬剤師会	学術講演会
9/18（水）	豊島区薬剤師会	9月度理事会
9/21（木）	第1回西部圏域多職種連携の会	
9/22（日）	第57回日本薬剤師会学術大会	
9/23（祝）	第57回日本薬剤師会学術大会	
9/26（月）	豊島区薬剤師会	正副長会
9/29（日）	豊島区薬剤師会	レクリエーション
9/30（月）	多職種連携勉強会	

令和6年度の主な活動予定

- 地区薬剤師研修会
 - 第1回 8月31日（土） Web実施
 - 第2回 日程未定
- 薬剤師研修会
 - 第1回 11月28日（木）
 - 第2回 日程未定

- 区民公開講座
 - 第1回 10月27日(日) としまセンタースクエア
 - 第2回 12月8日(日) としま区民センター(健康展同時開催)
 - 第3回 令和7年2月2日(日) としまセンタースクエア
- 健康展
 - 12月8日(日) としま区民センター
- 新年会
 - 1月18日(土) ホテルメトロポリタン池袋

医薬品分割販売利用案内

公益社団法人豊島区薬剤師会 会長
豊島区医薬品・情報管理センター センター長

※要遮光の医薬品（散剤、顆粒、ドライシロップ、水剤）について、仕切り書と薬ラベルに「遮光」と記載することにした。保存に関しては各薬局にて管理をお願いいたします。

1. 分割販売品目: 医薬品約1800品目、投薬ビン・軟膏壺などの医療材料
豊島区薬剤師会ホームページに販売品目リストを掲載しております。

2. 販売単位: 容器が必要な場合は、所定の容器（有料）を使用いたします。

錠剤・カプセル	1錠・1カプセル単位
散剤・顆粒・ドライシロップ	1g単位（バラ）、1包単位（分包品）
水剤	1ml単位（バラ）、1包単位（分包品）
軟膏・クリーム	1g単位（バラ）、1本単位（チューブ）
点眼・点耳・吸入	1本単位
ハブ剤	1袋単位
坐剤	1個単位
医療材料等	1個単位

豊島区薬剤師会 HP
池袋あうる薬局・医薬品・情報管理センター
https://toyoyaku.jp/owl_center.html



3. 販売価格: 医薬品・・・薬価(消費税込) / その他医療材料等・・・取扱品目リストに掲載

4. 手数料	豊島区薬剤師会 会員	無 料
	区外 東京都薬剤師会 会員	1 回 110 円 (消費税込)
	その他医療機関	1 回 2,200 円 (消費税込)

5. 検収・返品

医薬品受領時に必ずご確認ください受領印もしくは自署をお願いいたします。
品質管理上、返品はできません。ただし、メーカー回収の場合は、この限りではありません。
※使用期限が2ヵ月未満の場合は事前に確認の連絡をさせていただきます。
2ヵ月以上でも期限の確認が必要な方は発注書の備考欄にその旨をご記入ください。

6. 発注方法

注文方法：専用の発注書に必要事項を記入のうえ、FAXにてご注文ください。

受付時間	月曜日～土曜日	9 時 から 16 時 30 分
受取時間	月曜日～金曜日	9 時 から 17 時
	土曜日・日曜日・祝日	9 時 から 21 時 30 分

電話での注文は
お受けしておりません

※年末年始、棚卸等により臨時休業する場合があります。（ホームページでご確認ください）

※指定の発注書は、ホームページよりダウンロードできます。

7. 利用者の確認事項

初回利用時には、開設許可証の写し・都薬の会員証をお持ちの方は会員証の写しもお持ちください。
なお、豊島区薬剤師会会員の方は提出不要です。
その他開設許可更新等、管理センターが開設許可証の確認が必要と判断した場合には、再度ご提出 いただくことがあります。

8. 支払い方法

豊島区薬剤師会会員は、原則として月末日締め「翌月口座引落」となります。
その他の方は、「薬品受け取り時に現金支払い」となります。

公益社団法人豊島区薬剤師会
医薬品・情報管理センター 御中
FAX 03-3984-7546

取扱い要望書

令和 年 月 日

薬局名

以下の製品の取扱いを要望します

製品名	規格

※ 管理センターでは、会員様の要望のあるものにつきまして、取り扱いを検討し、採用するか否かを決定する資料として使用します。つきましては「取扱い要望書」に記入し、あうる薬局に提出してください。FAXでかまいません。

※ 「取扱い要望書」は、豊島区薬剤師会ホームページからもダウンロードできます。

管理センター取り扱いリスト追補

* 新規取り扱い(過去に中止または停止したものの再開、リスト作成時に漏れたものも含む)

	製品名	小分単位	備考
内用	アジレクト錠 0.5mg	錠	
内用	イグザレルト錠 2.5mg	錠	
内用	イブプロフェン錠 100mg「NIG」	錠	
内用	エスエーワン配合 OD 錠 T20	錠	
内用	オースギ当帰芍薬散料エキス T 錠 (SG-23T)	包	
内用	オングリザ錠 5mg	錠	
内用	クラシエ甘草湯エキス細粒(EK-401)	包	
内用	コルドリン錠 12.5mg	錠	
内用	タムスロシン塩酸塩 OD 錠 0.1mg「サワイ」	錠	
内用	テオフィリン徐放カプセル 100mg「サンド」	C	
内用	ピモベンダン錠 0.625mg「TE」	錠	
内用	プラザキサカプセル 75mg	C	
内用	ベポタスチンベシル酸塩 OD 錠 5mg「タナベ」	錠	
内用	ペリンドプリルエルブミン錠 2mg「サワイ」	錠	
内用	ラグノス NF 経口ゼリー分包	包	
外用	コレクチム軟膏 0.25%	本	
外用	フルオロメロン点眼液 0.1%「センジュ」	本	
外用	ブロムヘキシン塩酸塩吸入液 0.2%「タイヨー」	ml	
外用	ジクロフェナク Na パップ 70mg「日本臓器」	袋	

* 取り扱い中止

	製品名	備考
内用	EPL カプセル 250mg	
内用	アーチスト錠 1.25mg	
内用	アゼプチン錠 1mg	
内用	アテレック錠 20	
内用	アドソルビン原末	
内用	アナフラニール錠 25mg	
内用	アレジオン 10	
内用	イブプロフェン錠 100mg「タイヨー」	
内用	エクセグラン錠 100mg	
内用	エチゾラム錠 0.25mg「SW」	
内用	エビリファイ内用液 0.1%	
内用	エブランチルカプセル 30mg	
内用	オルメサルタン OD 錠 5mg「DSEP」	
内用	カデュエット配合錠 4 番	
内用	クエチアピン錠 200mg「VTRS」	
内用	ケアラム錠 25mg	
内用	ケレンディア錠 10mg	
内用	セイブル錠 50mg	
内用	セチリジン塩酸塩錠 10mg「サワイ」	
内用	セディール錠 10mg	
内用	セフカペンピボキシル塩酸塩小児用細粒 10%「SW」	

	製品名	備考
内用	セロクエル 25mg 錠	
内用	ソラナックス 0.4mg 錠	
内用	タダラフィル錠 5mgZA「サワイ」	
内用	チラージン S 散 0.01%	
内用	ツムラ温経湯エキス顆粒(T-106)	
内用	ツムラ黄連湯エキス顆粒(T-120)	
内用	ツムラ桂枝加芍薬大黄湯エキス顆粒(T-134)	
内用	ツムラ桂枝加竜骨牡蛎湯エキス顆粒(T-26)	
内用	ツムラ桂枝人参湯エキス顆粒(T-82)	
内用	ツムラ大防風湯エキス顆粒(T-97)	
内用	ツムラ人参養栄湯エキス顆粒(T-108)	
内用	ツムラ疎経活血湯エキス顆粒(T-53)	
内用	テグレート錠 200mg	
内用	テノーミン錠 25	
内用	ネキシウムカプセル 10mg	
内用	パリエット錠 10mg	
内用	ビタミン B6 散 10%「マルイシ」	
内用	ビペリデン塩酸塩錠 1mg「アメル」	
内用	フェブリク錠 20mg	
内用	フリウエル配合錠 ULD「あすか」	
内用	フルタミド錠 125mg「VTRS」	
内用	プロマック D 錠 75	
内用	ミカムロ配合錠 BP	
内用	メプロロール酒石酸塩錠 20mg「サワイ」	
内用	メマリー錠 20mg	
内用	ラツォダ錠 40mg	
内用	リスミー錠 1mg	
内用	リセドロン酸 Na 錠 2.5mg「サワイ」	
内用	レニベース錠 2.5	
内用	レニベース錠 5	
内用	レミニール OD 錠 4mg	
外用	エムラクリーム	
外用	カタリン K 点眼用 0.005%	
外用	キューバール 100 エアゾール	
外用	ソフラチュール貼付剤 10cm	
外用	トラニラスト点眼液 0.5%「サワイ」	
外用	フルティフォーム 125 エアゾール 120 吸入用	
外用	フルオロメロン点眼液 0.1%「日点」	
外用	ベタメタゾン酪酸エステルプロピオン酸エステルローション 0.05%「MYK」	
外用	ボピドンヨード外用液 10%「明治」	
外用	モイゼルト軟膏 0.3%[包装小]	
外用	モーラステープ 20mg	
外用	ライゾデグ配合注フレックスタッチ	
外用	ラピフォートワイプ 2.5%	

6 次 戦 第 231 号
令和 6 年 9 月 27 日

公益社団法人東京都薬剤師会会長
高橋 正夫 様

東京都デジタルサービス局長
山 田 忠 輝

「こどもDX推進に向けた医療機関等における
マイナンバーカード利活用推進事業」の周知について（依頼）

日頃から東京都の施策につきまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

東京都は、子育て世帯をはじめとする都民の利便性の向上を図るため、自治体及び医療機関等において、国が開発した情報連携基盤であるPMH（Public Medical Hub）の接続を推進し、マイナンバーカードを医療費助成の受給者証として利用可能とする取組を国と連携して進めています。

国（社会保険診療報酬支払基金）においては、本年7月から、レセプトコンピューターをPMHに接続する改修を行った医療機関・薬局に対する補助を実施しており、都は、都内医療機関・薬局におけるPMH接続を支援するため、この国の補助金に上乗せして補助金を交付する「こどもDX推進に向けた医療機関等におけるマイナンバーカード利活用推進事業」を9月27日から開始いたします。（本事業の詳細は、別添資料及び特設ホームページを御確認ください。）

特設HP（<https://pmh-hojokin2024.metro.tokyo.lg.jp>）

貴会におかれましては、これらの内容についてご了知いただくとともに、別添資料も活用し、本事業について貴会会員薬局及び関係機関等に対し周知いただきますよう、特段のご配慮をお願い申し上げます。

【問合せ先】

東京都デジタルサービス局
デジタル戦略部デジタル戦略課
川野・原田・蓮尾
電話：03-6627-1974

令和6年10月吉日

公益社団法人 日本薬剤師会

会長 岩月 進 殿

一般社団法人 日本臨床腫瘍薬学会

理事長 近藤 直樹

「専門医療機関連携薬局 年次定点調査」へのご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は一般社団法人 日本臨床腫瘍薬学会(以下「JASPO」)への活動等にご理解、ご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて JASPO では、専門医療機関連携薬局認定制度に対応すべく、外来がん治療専門薬剤師 (BPACC) の認定制度を創設するとともに、主として薬局薬剤師を対象にがん診療病院連携研修 (病院実地研修) を令和3年度より導入しています。令和5年8月末時点において、薬局薬剤師の BPACC 取得者は322名、がん診療病院連携研修の修了者は令和6年8月末までに474名を輩出しており、専門医療機関連携薬局の認定薬局拡大に向け、事業を推進して参りました。また、令和4年度より、専門医療機関連携薬局を対象に年次定点調査を実施しております (令和4年度の調査結果は昨年度のアンケート調査の依頼の際にフィードバックしましたが、詳細な分析を加えた形でまもなく JASPO 雑誌に掲載される予定です。また令和5年度調査の結果につきましては、現在集計中であり、結果がまとまり次第、何かしらの形でフィードバックすることを検討しております)。

つきましては、本年も引き続き専門医療機関連携薬局を対象にしたアンケート調査を実施することとなり、別添のとおり専門医療機関連携薬局へアンケート調査を依頼しました。本調査は、毎年定点で調査を実施することとなっており、国からも注目を集めるものとなっております。貴会からも所属される専門医療機関連携薬局に対して、アンケートへのご協力をお願いいたたく存じます。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

専門医療機関連携薬局

責任者 殿

一般社団法人日本臨床腫瘍薬学会

理事長 近藤 直樹

専門性の高い薬局薬剤師の養成推進ワーキンググループ

委員長 下川 友香理

「専門医療機関連携薬局 年次定点調査」への ご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は一般社団法人 日本臨床腫瘍薬学会(以下「JASPO」)への活動等にご理解、ご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さてご存じのとおり、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の改正に伴い、令和 3 年 8 月より専門医療機関連携薬局の認定制度が施行されました。JASPO では、本認定制度に対応すべく、外来がん治療専門薬剤師(BPACC)の認定制度を創設するとともに、主として薬局薬剤師を対象にがん診療病院連携研修(病院実地研修)を令和 3 年度より導入しています。令和 5 年 8 月末日時点において、薬局薬剤師の BPACC 取得者は 322 名、がん診療病院連携研修の修了者は令和 6 年 8 月末までに 474 名を輩出しており、専門医療機関連携薬局の認定薬局拡大に向け、事業を推進して参りました。さらに令和 4 年度より、専門医療機関連携薬局を対象に年次定点調査を実施しております(令和 4 年度の調査結果は昨年度のアンケート調査の依頼の際にフィードバックしましたが、詳細な分析を加えた形でまもなく JASPO 雑誌に掲載される予定です。また令和 5 年度調査の結果につきましては、現在集計中であり、結果がまとまり次第、何かしらの形でフィードバックすることを検討しております)。

そこで、本年度においても引き続き専門医療機関連携薬局を対象にしたアンケート調査へのご協力をお願いいたく存じます。今回の調査では、例年どおり Google フォームでのご回答をお願いいたしたく、次に示す URL 又は QR コードよりアクセスして下さい。また、情報管理の観点からご回答の際には、貴薬局の調査専用施設コードの入力をお願いいたします(同封の『Web 調査入力用 事前記入用紙』に貴薬局調査専用施設コードを記載しております)。

Google フォーム調査 URL

↓↓↓

<https://forms.gle/JdLGuAPwwPQYT1Pj7>



なお、本調査票は、最後に送信ボタンを押さない限り、設問間の移動や、回答修正が出来るような入力フォームとなっております。できるだけ全ての設問にご回答の上、送信ボタンを押してください。調査情報の機密性を確保するため、調査票内に薬局名や会社名など個々の薬局を特定できるような情報に関する設問はございません。調査専用施設コード(Aから始まる4桁のコード)を最初にご記入ください。学会事務局で集積した個々の情報に関しては、決して漏えい等がないよう厳重に責任をもって管理いたします。回答時間の目安は10分程度となります。

ご多忙中に恐縮ではございますが、令和6年12月2日(月)までにご回答をお願い申し上げます。本件に関しまして、ご不明な点等ございましたら、下記までご連絡ください。

最後になりますが、JASPO としましては今後も定点調査につきましては、調査施設が特定されない形で発信させていただき、国民に広報して参る所存です。ご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

敬具

同封書類

- 「専門医療機関連携薬局 年次定点調査」へのご協力のお願い(本文) 1枚
- 専門医療機関連携薬局に関する実態調査(Web 調査入力用 事前記入用紙) 1枚

【お問い合わせ先】日本臨床腫瘍薬学会 担当:平坂
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9F
(株)毎日学術フォーラム内
TEL:03-6267-4550(代表)、E-mail: jaspo@mynavi.jp

以上

介護事業者・法人・事業者団体等の皆様へ

介護分野の人員配置基準に関する ローカルルールについてご回答をお願いいたします ～事例・要望等について募集します～

回答方法・回答期限

回答方法

以下のURLまたは二次元コードより
専用ページへアクセスし、
ご回答ください。

回答期限

11月22日(金) 18:00まで
※ご回答状況により
変更となる可能性があります。

<https://forms.office.com/r/s4KBqFeNnA>



人員配置基準のいわゆるローカルルールとは



厚生労働省令で定められている人員配置基準等に従う範囲内で、
指定権者が独自に運用している規則等のことです。

例①

テレワークの 取り扱い

- ・ 同一法人の別の事業所でのテレワークは認めない
等、勤務場所が限定される

例②

管理者・従業者の 兼務、経験・資格

- ・ 管理者が兼務できる職種の数の上限の規定がある
- ・ 従業者に対し特定の資格の所持が求められる

例③

介護職員の定義

- ・ 身体介助等を行わない職員の
「介護職員」としての人員配置基準への算入の取
扱いが指定権者ごとに異なる

お問い合わせ先

「人員配置基準のいわゆるローカルルールの把握・整理」事務局
email: r6-localrule-kijun@ml.mri.co.jp

6 都薬会発第 278 号
令和 6 年 10 月 5 日

地区及び職域薬剤師会 会長 殿

公益社団法人 東京都薬剤師会
会 長 高 橋 正 夫

「第十八改正 日本薬局方 第二追補」の斡旋について

平素より、本会会務につきご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本会は、(株)じほうが発行する「第十八改正 日本薬局方」を会員向け斡旋書籍としておりますが、今般、同書籍の第二追補が刊行されました。

つきましては、下記要領にて斡旋することといたしましたので、お忙しいところ恐縮ですが、貴会会員への周知方宜しくお願い申し上げます。

記

- 1.名 称 : 「第十八改正 日本薬局方 第二追補」
- 2.発 行 : 株式会社 じほう
- 3.判 型 : B5 判 476頁
- 4.価 格 : 定 価 10,780円(税込)
会員価格 9,702円(税込)
- 5.送 料 : 地区薬剤師会宛 無 料
個人・薬局宛10冊未満 550円
個人・薬局宛10冊以上 無 料
- 6.申 込 先 : 東京都薬剤師会 薬局業務課 書籍担当
- 7.申込方法 : FAXでお申し込みください。(FAX 03-3294-7359)
- 8.送金方法 : 請求書は、ご注文頂いて一週間程後に郵送いたします。
本の到着後に、請求書に同封いたします「払込票」により最寄りの郵便局にて払込送金をお願いいたします。

<担当 事務局 薬局業務課 TEL 03-3294-0271>

→

地区・職域薬剤師会

東京都薬剤師会

(いずれかを○で囲って下さい)

御 中

幹旋図書 申込書

6都薬会発第278号【6年10月版】

★上記薬剤師会のいずれかにお申し込み下さい。(申込先によりご負担いただく送料が異なります 送料欄参照)

申込年月日		年 月 日
書籍届先	薬局名 又は 地区・職域薬剤師会名	※地区・職域薬剤師会が一括申込をされる場合は地区名のみご記入ください
	住 所	〒 _____ ※地区・職域薬剤師会事務局の場合は記入不要
	請求先住所	〒 _____ ※上記と同じ場合は記入不要
T E L		()
F A X		()
御担当者氏名		

該当書籍並びに別送いたします請求書の到着まで、このお申込書は大切に保管願います。

No	出版社名	書 籍 名	幹旋価格 (消費税込)	+ 送料(税込)	部数
1	じほう	「第十八改正日本薬局方 第二追補」 (定価10,780円)	9,702	地区・職域薬 薬局・個人 〃 10冊以上 無 料 550円 無 料	

※ 他の幹旋刊行物につきましては『日本薬剤師会雑誌』掲載の“日薬刊行物等のご案内”欄をご覧ください
★申込は、所属の地区・職域薬剤師会事務局もしくは下記の東京都薬剤師会事務局までお願いします。

問合先：事務局 薬局業務課・書籍担当
公益社団法人 東京都薬剤師会
TEL 03(3294)0271